

丹波中学校だより



清流の辺

せい

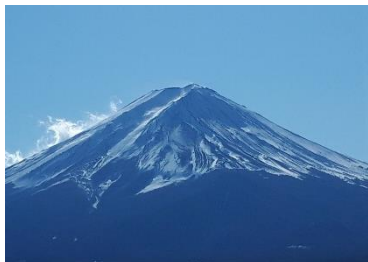
りゅう

ほとり

2020. 1. 14

文責 丹波中校長 清水浩喜

2020年（令和2年）のはじめに



～丹波山村と日本と明るい未来と～

新しい年の到来を、心から寿ぐとともに、新たな決意と責任を改めて認識しているところです。そして、生徒たちと保護者の皆様と丹波中学校と丹波山村と日本と世界に、多くの寿と明るい未来が訪れるよう心から願いながら、努力の年にしたいと思っています。

丹波中を愛する皆様、本年も、どうぞよろしく申し上げます。

さて、年末年始のメディア情報に目をやると、2020 東京オリンピックへの期待感にあふれる話題が盛りだくさんでした。ボイコットされたモスクワ五輪の代表選手が、開会式に参加！日本全国で聖火ランナーが活躍！卓球女子平野選手が、団体戦メンバーに選出！平野選手のお父さんは、私の学生時代の卓球ライバルでありました。この時代に生きていることに幸せを感じるとともに、2020 東京を思い切り楽しみたいと思います。7月末には、丹波中生徒も、パラリンピック観戦の予定です。

教育に関するメディア情報を整理すると、以下の話題が目を引きました。一緒に考えてみましょう。

- 「25人学級導入小1優先」 県内公立小中 検討委員会が集約 教員確保も必要
- 「出生 初の90万人割れ」 2019年推計 死亡数は戦後最多
- 「わいせつ教員処分 最多」2018年度調査 全国282人 県内は3人
- 「県内公立小中の特別支援教諭免許 担任が保有3割届かず」 きめ細かい指導へ増員を
- 「先生のコトバ 反響編」 謙虚になって周りを見渡してごらん 誠実を貫きたまえ 啐啄
- 「国家公務員 65歳定年 22年度着手」 政府方針 1歳ずつ段階的に引き上げ
- 「セブン 社会の変化に対応」 営業時間一律を転換 45年間われわれのやり方を踏襲に問題
- 「米イラン緊迫状態 世界に激震」 報復合戦を危惧 どうなる平和の秩序

これらに共通することは、これからの教育界の在り方、教員の在り方には、今まで以上に広い視野と未来を見据えた力が求められているということです。また、そんな今だからこそ、一人ひとりを見捨てない、あきらめない、丸ごと受けとめる教育が必要不可欠といえます。日本の未来に希望あれ！そして、日本の未来が抱える課題を凝縮しているのが丹波山村であろうと思います。だとしたら、今こそみんなの知恵と実行力を結集して、丹波中の明るい未来を考えましょう。そして、丹波山村と日本の明るい未来に向かいましょう。謙虚に誠実に、努力を惜しまない！一歩上の自分、一歩上の丹波中！さあ、2020年の出発です！

★職員室前にタイムカプセルを設置



清流祭で紹介したタイムカプセルを、丹波中職員室前に設置しました。2学期終業式の時に、全校生徒が見守る中、生徒会長を中心に、様々なものを中に入れました。来場いただいた皆様の手紙、生徒の未来へのメッセージ、清流祭ビデオ、丹波中と丹波山村の写真集などがそれにあたります。15年後（2034年）の清流祭で開封することも確認されました。丹波中の明るい未来に集う我々であることを、誓い合ひましょう！





1月14日(火)	3学期始業式 席書大会 体重測定 給食開始
15日(水)	到達度検査(全学年)
16日(木)	職員会議
20日(月)	きずなの日
24日(金)	新入生体験入学・保護者説明会
27日(月)	校内研

3学期の主な行事予定

2/ 4(火) 授業参観 定例会 学年部会	3/ 2(月) 卒業おめでとうバイキング
10(月) 3年生期末試験①	5(木) 3年生を送る会
12(水) 3年生期末試験②	11(水) 第73回卒業証書授与式
20(木) PTA 定例会	25(水) 修了式 離任式
27(木) 1・2年生期末試験①	
28(金) 1・2年生期末試験②	



★15の春に幸せを呼ぼう

2019年度県内中学3年生の進路希望調査結果が公表されました。若干の定員割れはあるものの、受験生にとっては、厳しい試練となることが明らかになりました。本校3年生は、受験に向けて一心不乱に学び続けています。この冬休み中も、ほぼ毎日登校し、切磋琢磨しあいながら学び続けています。15の春に幸せを呼びよせる努力の姿を、心から応援したいと思います。がんばれ丹波中3年生!

さて、1年生と2年生には、まだ早いかという、そうではありません。早い段階で、具体的な目標をもった生徒ほど、力を伸ばすといわれています。そして、それが15の春の幸せにつながるともいえます。

よって、早い段階で進路指導をスタートさせる必要があります。本校では、3学期より具体的な進路指導を、全学年で実施します。社会的な自立をめざした進路指導を展開します。その様子については、学年部会や定例会等で報告します。保護者の皆様の相談にも対応していきます。ぜひ、学校にご相談ください。

★一溪に一对の幻の野鳥『ヤマセミ』・豊かな自然

この鳥の撮影にはまったことがあります。ある夏、鹿留川で友人たち(「裸族の会」というふざけた仲間たち)とキャンプをしていた時のことです。明け方、確かにこの鳥の姿と鳴き声に出会ったのです。ヤマセミです。大きさは、鳩ぐらい。鳴き声は、「ケッ、ケッ」。そして、もう一度会いたい、早朝に、何度も何度も足を運びました。うれしいことに、何度も何度も会うことができました。撮影にも挑戦しました。しかし、ヤマセミを撮影することはとても難しかったです。ぶれる、はずれる、つまずく、転ぶ……。結局、カメラの性能のせいにして終わった記憶があります。(笑)



そんなヤマセミと、再開したのが去年のことです。朝の丹波山川沿いウォーキング中に「ケッ、ケッ」。メロディー橋の下に表れた荘厳な姿。一人感動に酔いしれた私がいまいました。それからは、ほぼ毎回出会う幸せに恵まれました。おそろべし丹波山村です。さて、こんな文を書いたのには、訳があります。丹波山村には素晴らしい自然がたくさんあるということです。(今更何を言っているんだと笑われそうですが)しかし、生徒たちや我々は、この大自然の素晴らしさを十分に味わったり楽しんだりすることができているでしょうか。我らの丹波中は、この大自然をいかした教育活動を行っているでしょうか。そんな問いが、常に私の中にあります。新年のスタートに、この丹波山村の大自然を豊かな恵みとらえる丹波中教育の一つに、着手したいと考えます。ともに、考えましょう!そして、豊かな自然から豊かな心が育まれていくことを、期待しましょう!